

あいな里山公園情報



トピックス

- 新年度のご挨拶
- 里山からこんにちは
- あいなかかわら版
- イベント情報・お知らせ
- 現場担当引継ぎのご挨拶
- アクションリサーチからのお知らせ

春のあいさつ

例年より、長く厳しかった冬を越え、里山は春から初夏へと彩を変えていっています。

昨年12月から始まった市民参加による茅葺きイベント「カヤマル'06」も無事終了し、茅葺き職人さん達が仕上げた見事な茅葺屋根が、公園の玄関口で訪れる方々を迎えています。（工事の関係上、近くへの立ち入りを制限している場合がありますのでご了承ください）

森に入ると、春を待ちわびた草花たちが色とりどりの花を咲かせています。そしてこれから少しずつ、木々の緑が濃くなっていく季節を迎えます。

製作・発行

国営明石海峡公園事務所 神戸地区現場事務所
〒651-1104 神戸市北区山田町船部字伝馬14
TEL:0781593-3943 FAX:0781593-3944
kobe@kokueiakashi.go.jp
http://www.kokueiakashi.go.jp

■アクションリサーチ(AR)からのお知らせ

あなたと考え、共に育む公園を目指して

7月からの実施へ向けてAR実行計画を作成中

去る3月9日に開催された第3回マネジメントプラン検討委員会において、ARのコーディネーター4名が承認されました。現在、コーディネーターとAR部会、公園事務所が協力して「AR実行計画」の作成を進めています。

そして、7月より来年3月までの期間、この実行計画にもとづいて、様々な活動やイベントを行う予定です。参画団体のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

コーディネーターの紹介



◆あいな耕作くらぶ 代表

この「あいな里山」に生まれ育って60年。父と母に嫌と言うほど里山の生活・田畑の仕組みを教わりました。その里山が今、荒廃しています。それを再生し、公園として復活させるのは私の役目。他のコーディネーターと協力し、アクションリサーチに望みたいと思っています。

中西 久志（里山整備係/農地等担当）



◆NPO法人自然と友だちになろう 代表

万の知恵が集って語らう。野鳥たちのさえずりがとぎれることなく聞こえて、畑の野菜が黄色に、白色に、花さかり。モンシロチョウが楽しそうに飛び交う。人々とともに、里山に遊び、学び、時を過ごそうと考えています。

三宅 慎也（里山整備係/植生等担当）



◆NPO法人自然と友だちになろう

兵庫県自然保護協会理事長、頌栄短期大学名誉教授、理学博士。野菜や果物の植物学については第一人者と自負しているうぬぼれ屋です。料理はおふくろを真似しながら大きくなったので、得意です。化学実験に通じるものがあることも、料理が好きになった理由でしょうか。

福岡 誠行（利用促進係/里山利用等担当）



◆NPO法人シニアしごと創造塾

利用促進の仕事を担当する松森博巳です。あいな里山公園内での活動実績はありませんが、「あいな文化」を汗しながら学びたいと思っています。何でも気軽に相談が受けられるコーディネーターを目指します。

松森 博巳（利用促進係/外部団体等担当）

■アクションリサーチ(AR)に関する情報・お問い合わせ

ARに関する情報は、公園HPにアクセスしていただき、「マネジメントプラン検討委員会」のサイトをご覧ください。また、この「あいな里山公園情報」に新たな情報を掲載する予定です。

ARに関するお問い合わせ

アクションリサーチ部会事務局 佐々木・安田 e-mail:AR-18@kukan.com

新年度の「挨拶」



「里山」と「公園」
 国営明石海峡公園事務所 鈴木 修二
 (平成18年度4月着任)

はじめまして。4月
 から国土交通省の国営
 明石海峡公園事務所長
 に就任しました鈴木修
 二です。

この情報誌を初めて
 手に取られる方からは
 「国土交通省はあいな
 の里山と関係あるの？」
 と疑問が聞こえてき
 そうですが、ここあいな
 の里山は、国(国土
 交通省)が事業主体と
 なる公園の予定地とな
 っています。

「里山」の素晴らしさ
 は、四季折々に変化す
 る山の表情や、可憐な
 花、山菜・タケノコ・
 キノコといった自然の
 恵み、田んぼの景色、

鳥や昆虫との触合い、
 そしてこれらが自然と
 人為の営みの接点で展
 開されているという点
 にあります。

この「里山」の素晴
 らしさを「公園」とい
 う制度を使って、広く
 国民に享受してもらお
 うというのが、あいな
 の「里山公園」の目指
 すところだと考えてい
 ます。

でも、昔の里山は「
 公園」ではありません。
 農家の方による耕作が
 行われ、山で柴刈りが
 行われた、生産活動・
 生活の場です。こうし
 た自然への働きかけの
 接点で生じた環境にお

いて、先にお話した
 自然の恩恵を享受でき
 たわけです。一方「公
 園(都市公園)」とい
 う制度は、公共の土地
 をレクリエーションの
 場として、広く一般の
 方々に利用するための
 ものですので、一般に

は、植物の採取、火の
 使用など諸々の行為に
 制約をかけ、特定の方
 の生産活動のために土
 地を使用する場所では
 ありません。こうした
 「公園」の制度と昔の
 「里山」が成立してい
 た条件の間にはギャッ
 プがあります。

こうしたギャップを
 埋める仕組みを考えな
 くて、至るところ
 で見ることが出来た茅
 葺き屋根の民家。しか
 し、今ではなかなかお
 目にかかる機会に恵ま
 れません。材料の不足
 や補修の手間、職人の
 不足など、減少理由は
 一つではありません。

あいなかわら版

懐かしくて 新しいシンボル 茅葺き屋根



かつて、至るところ
 で見ることが出来た茅
 葺き屋根の民家。しか
 し、今ではなかなかお
 目にかかる機会に恵ま
 れません。材料の不足
 や補修の手間、職人の
 不足など、減少理由は
 一つではありません。

越えた何かを、人々に
 訴えかけています。
 今回の茅葺き屋根工
 事では、茅刈りから始
 まる、一連の茅葺き作
 業を通して、自然の循
 環や、古に学ぶべきラ
 イフスタイルを知って
 いただけるような機会
 として実施いたしました。
 材料としての茅は、
 ススキやヨシなど、か
 つて集落の中や近くに
 あり、定期的に刈り取
 り保管をしていたもの
 なのです。

イベント情報・お知らせ

■イベント情報掲載します
 あいなでは、様々な市民事業や
 活動が実施されています。ここで
 は、その会員募集や参加募集の案
 内を掲載していきますので、活動
 団体の方で、掲載を希望される情
 報をお持ちでしたら、ご連絡お願
 いいたします。

■事務所からのお知らせ
 只今、公園事務所では、稀少植
 物等検討会と里山管理技術者認定
 制度のを直営事業として取り組ん
 でおります。
 また、マネージメントプラン検
 討委員会から発足したアクション
 リサーチ部会(仮想経営組織)に

よる、アクションリサーチも棚田
 ゾーンの一部にてはじまります。
 これから、工事を含め、公園事
 務所からのお知らせも、この欄に
 掲載していきます。
 尚、現在実施中の工事箇所など
 に関しましては、現場事務所まで
 お問い合わせ下さい。

里山から こんにちわ



「ホーホケキョ」の
 鳴き声で有名な鳥。
 春告鳥と呼ばれたり
 します。声は聞こえ
 ますが、姿を見るこ
 とが難しい鳥です。



ヘビの名を持ちますが、
 トカゲの仲間です。マムシ
 等と比べて小さいですが、
 草むらから出てくる時には
 驚かされる事も。尻尾を切
 って逃げる事もあります。



杉菜(スギナ)の胞子茎。
 葉が杉に似ている事からそ
 の名がついたそうですが、
 胞子茎のツクシの方が人の
 方の目を引きまます。春の味
 覚として代表的存在です。



神戸地区では4月初め頃
 から孟宗竹の筍が出始め、
 淡竹(ハチク)、真竹(マ
 ダケ)の順に筍が出てきま
 す。地元の方いわく、味は
 淡竹が一番だとか。

遠くから材料を運ぶの
 ではなく、身近にある
 もので屋根を作り、そ
 の屋根材料を育てる場
 所を茅場として管理し
 てきたのです。
 概ね三十年ごとに行
 われる葺き替えや、そ
 れまでに幾度か行う補
 修作業。その度に、茅
 は必要となります。

現場担当引継ぎの「挨拶」



本年度、あいな里山
 公園の現場を担当する
 事になりました。佐竹
 鑑(さたけあきら)と
 申します。
 前任の本位田氏より
 引き継いで、このあいな
 里山情報も、作成さ
 せていただく事となり
 ました。
 読みやすく、あいな
 の良さが伝わるように
 努力していきたいと思
 いますので、よろしく
 お願いします。
 また、昨年2月から
 稼働し始めた、藍那山
 荘に詰めておりますの
 で、現地にお越しの際
 には、是非お立ち寄り
 下さい。